

持続可能な森林経営強化支援事業

目的

「伐って・使って・植えて・育てる」という林業サイクルを循環させ、森林の多面的機能を持続的に発揮させるためには、主伐後の再造林などの森林整備を計画的に行う必要がありますが、再造林コストの負担等から主伐後に再造林を行わず、放置されている森林が増加しています。

このため、伐採業者と造林業者の連携による再造林コストの削減、森林経営計画の作成による再造林への支援や森林由来のJ-クレジットによる経営支援等を効果的に組み合わせ、森林所有者の経営意欲の向上を図ることで、持続可能な森林経営の実現を目指します。

令和6年度事業概要

1 事業内容

(1) 林業サイクル推進コーディネート事業（実施主体：県（委託））

一貫作業による再造林コストの削減を促進するため、素材生産業者や森林組合の連携強化を図るとともに、森林所有者へ再造林の働きかけや長期受託契約に伴う森林経営計画の策定に向けた取り組みを推進します。

(2) 森林J-クレジット創出支援事業

森林所有者との長期受託契約に基づき、森林経営計画を策定した森林においてJ-クレジットの創出を促進するため、クレジット登録・認証取得に必要な計画書作成等に要する経費を支援します。

また、J-クレジット制度の理解を深めるため、説明会等を実施します。

2 令和6年度 おかやま森づくり県民税充当額

7,600千円

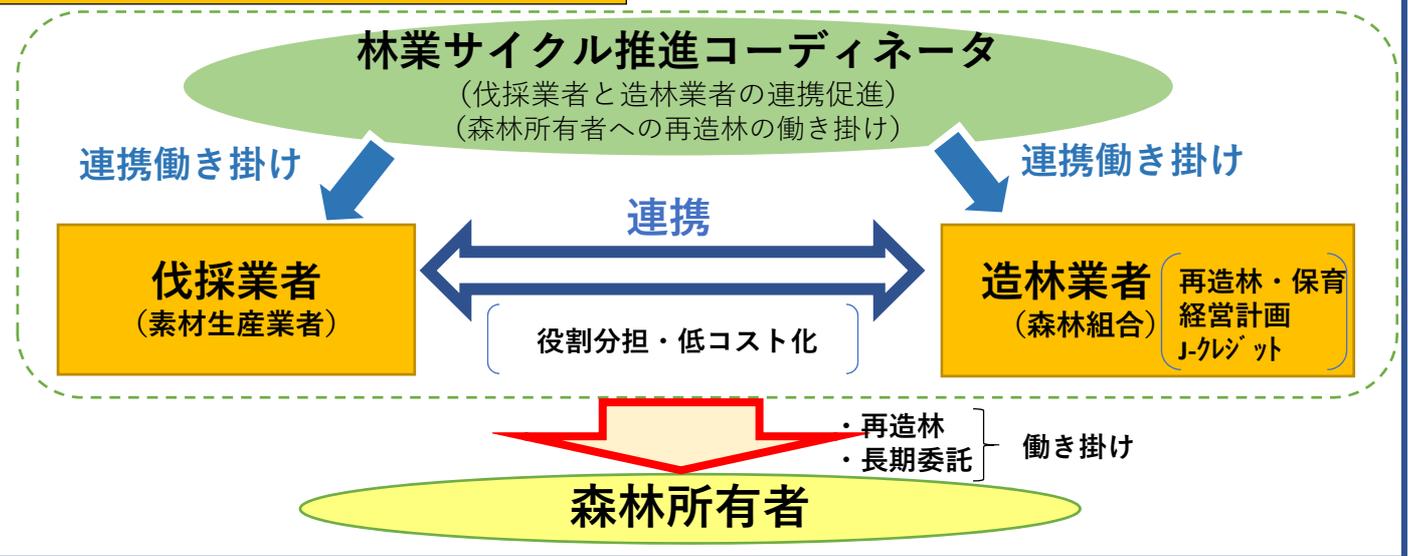
持続可能な森林経営強化支援事業

現状と課題

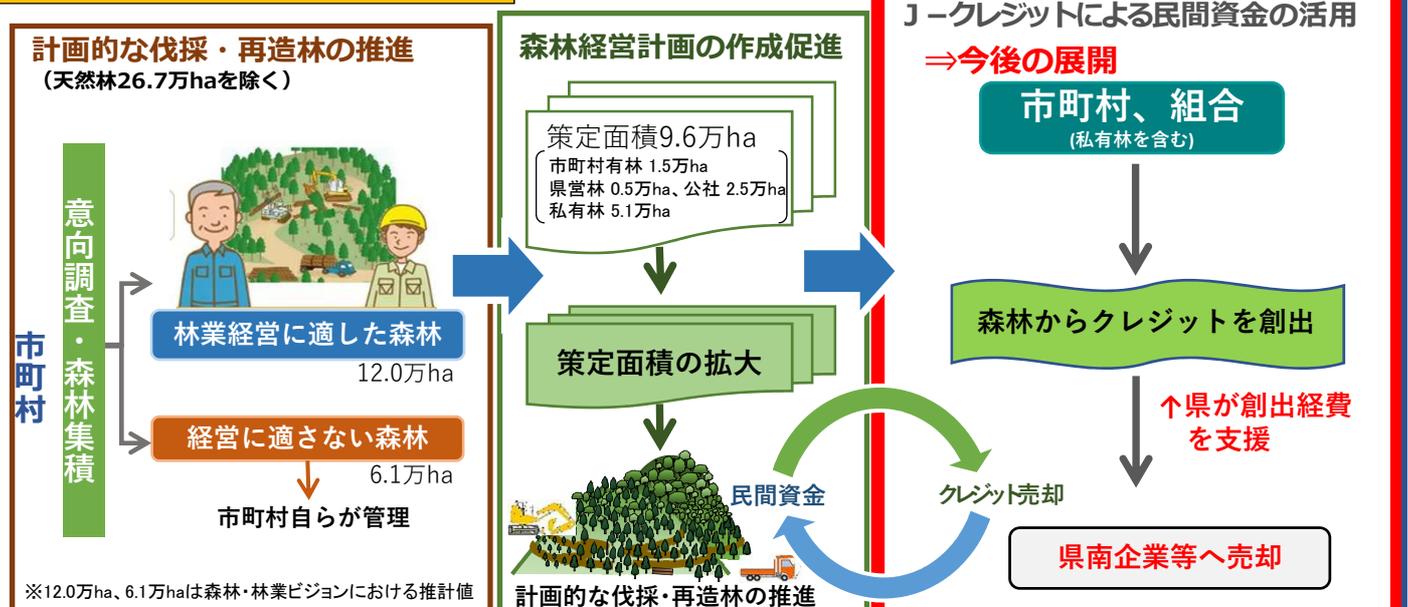
森林資源の適正管理と循環利用のための再造林

- ・伐採後の再造林が適切に行われず、放置されている森林が増加
- ・伐採業者と造林者が連携して、効率的な伐採・再造林を行うことが重要
- ・森林所有者に対して、地域の森林施業のモデルを示しながら、再造林の働き掛けが必要
- ・伐採・再造林を進める上で重要となる森林経営計画は減少傾向にあり、計画拡大に向けた取組を進め、J-クレジットなど新たな収入源を確保し、森林所有者の経営意欲の向上を図ることが必要

林業サイクル推進コーディネート事業



森林J-クレジット創出支援事業



J-クレジット認証・発行手続き

